

第8回嘉穂高等学校第44回生同期会総会 議事録

令和8年1月24日（土）17時15分、飯塚市本町11-50の寿司万において第8回嘉穂高等学校第44回生同期会総会（定時総会）を開催した。尚、開催に先立ち、物故者に対し出席者全員で黙祷を行った。

総会員数 : 492名

出席者の数：20名、委任状による出席者の数：25名 計45名

以上のとおり出席者がいること、及び「嘉穂高等学校第44回生同期会会則第14条」により議案は委任状を含む出席者の過半数をもって採決することについて司会を務めた事務局長 松岡進 より説明があり、総会は開始された。

1、開会挨拶

会長 土師裕司より「昨年関東地区同窓会の当番会期を皆さんの協力のおかげで盛大に且つ予算的にも無事に終えることができました。ありがとうございました。本年度はいよいよ同期として最後の当番会期である福岡支部の総会を迎えます。“心ひとつに、最後まで楽しく！”という福岡支部のスローガンのもと皆さんのご協力を宜しくお願いします。それでは総会を開催致します。」との挨拶があり、開会の宣言が行われた。

2、議長選出

議案の審議に先立ち、司会より「嘉穂高等学校第44回生同期会会則第12条」に基づき、会長 土師裕司 を議長に指名する旨の説明があり、出席者から異議はなく、土師裕司が議長となり審議に入った。

3、決議議案

第一号議案 事業報告及び活動費支出決算の件

事務局長 松岡進より令和7年度事業報告および一般会計決算報告の説明があった。決算報告については、支出の部 費目：広報費内（1）印刷費の支出実績70,954円のうち摘要記載「フジキ印刷50,820円」については、費目は総務費に該当するものである旨を修正のうえで決算報告全体についての説明がなされた。その後に 監査委員 宮崎健司、及び稲田正樹 より同一般会計は適正に処理されており、同決算報告は正しいものである旨の報告があった。

議長が同議案について出席者に諮ったところ、出席者から質問は無く、本議案は承認可決された。

第二号議案 活動費支出予算案の件

事務局長より嘉穂高等学校第44回生同期会の令和8年度の事業予定および一般会計予算(案)について説明があり、議長が同議案について出席者に諮ったところ、出席者の中から「予算案の次年度繰越金がゼロになっているということは今年度でこの会の活動は終わるとのことなのか。」との質問があった。他の出席者からは「本予算案は今年度末で会の活動を終わることが前提となっているものと思われるが、会の活動を終わるか存続するかについては役員会の専決事項ではなく事前に総会等で会員に諮るべき事項ではないのか。」また、「予算案 活動費 819,801 円は数年かけて支出する金額のようだが、予算はあくまでも単年度予算であるべきではないか。」等の意見があり、役員に見解を求めた。

事務局から「最後の当番会期である福岡支部同窓会を迎える本事業年度の終了時点において、本会会則第3条乃至第4条記載の本会の目的および取組むべき事業については概ね終了することを踏まえて予算案を作成したが、いただいたご質問・ご指摘はごもっともであり、且つ会則第13条第(5)号に「解散及び残余財産の処分」については総会の決議事項と定められていることから不合理であった。会員の皆様にお詫びする。ご意見・ご指摘を踏まえ、本年度終了後に定時総会にて決算報告を行い、その際の次年度繰越金(残用財産)については、その後の本同期会の在り方を含めて総会に諮っていきたい。」との回答があった。

出席者の中から予算案 活動費 819,801 円に関して本年度の支出として 50,000 円を計上し、差額 769,801 円は予備費として別途計上する等の修正案が提示され、本修正案について出席者にて協議を行った。

出席者の中から冒頭予算案の支出の部「総務費(7)関西支部活動費、及び(8)北九州支部活動費の趣旨および予算額の根拠を伺いたい」との質問があった。事務局より「①当番会期を務めなければならない関西、北九州、関東、福岡の4支部のうち、前年が当番会期であった関東および今年当番会期を迎える福岡に対してはその準備費として前年度(令和7年度)に各 200,000 円の費用を計上したが、既に過年度に当番会期を終えた関西、北九州には同準備金を支出していなかったこと、②4支部では実行委員長を含め1~3名程度が当番会期終了後に各支部の理事となって毎年理事会等に出席する責務があり、過年度に当番会期を終えた関西、北九州においても数名が同期の代表として既にその責務を担っていてその負荷の一部を補いたいこと、③関東および福岡においても当番会期終了後には同様に理事としての責務を担うことになるが、両支部では支部総会当番時において同期会の協力による広告収入等の活動をとおしてこの負荷の一部を補う資金の確保が見込まれるためこの件に関する一般会計からの補助は現時点では不要と思われること、などの事情を踏まえ、支部総会当番会期の準備費用と当番後の支部理事活動費用とで用途は異なるものの、前年度と本年度の2年間で各4支部に均等額を計上することで平等性を図るよう配慮した」旨の報告があった。

以上の審議を終え、議長より修正案を踏まえて予算案について決議したい旨を議場に諮ったところ、出席者から異議は無く予算案は一部修正のうえ承認可決された。
(修正予算別紙のとおり)

4、閉会挨拶

副会長 山喜多洋志より「お疲れ様でした。皆さんでこうやって忌憚なく必要な意見を交わす場があるということは本当に素晴らしいことだと思います。この後の懇親会も宜しくお願いします。これもちまして総会を終了致します。」と閉会の挨拶が行われた。

以上をもって、18時15分に総会は終了した。